

2020年10月～12月 暗唱聖句 第四期 「教 育」 口語訳

<p>第一課 一〇月三日 「見よ、神はその力をもってあがめられる。だれか彼のように教える者があるか。」 ヨブ記 三六ノ二二 口語訳</p>	<p>第二課 一〇月一〇日 「わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教を捨ててはならない。」 箴言 一ノ八 口語訳</p>	<p>第三課 一〇月一七日 「あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならぬ。」 申命記 六ノ五 口語訳</p>	<p>第四課 一〇月二四日 「主の目はどこにでもあって、悪人と善人を見張っている。」 箴言 一五ノ三 口語訳</p>	<p>第五課 一〇月三一日 「『やみの中から光が照りいでよ』と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。」 Ⅱコリント 四ノ六 口語訳</p>	<p>第六課 一月七日 「そこでイエスは言われた、『行け、あなたの信仰があなたを救った』。すると彼は、たちまち見えるようになり、イエスに従って行った。」 マルコ 一〇ノ五二 口語訳</p>	<p>第七課 一月一四日 「そのみにふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えて主のみにきたれ。聖なる装いをして主を拝め。」 歴代志上 一六ノ二九 口語訳</p>
<p>第八課 一月二二日 「聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。」 Ⅱテモテ 三ノ一六 口語訳</p>	<p>第九課 一月二八日 「また、わたしたちは、キリストの使徒として重んじられることができたのであるが、あなたがたからもせよ、ほかの人々からもせよ、人間からの栄誉を求めたことはしなかった。むしろ、あなたがたの間で、ちょうど母がその子供を育てるように、やさしくふるまった。このように、あなたがたを慕わしく思っていたので、ただ神の福音ばかりではなく、自分のいのちまでもあなたがたに与えたいと願ったほどに、あなたがたを愛したのである。」 Ⅰテサロニケ 二ノ六〇八 口語訳</p>	<p>第一〇課 二月五日 「もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす。」 詩篇 一九ノ一 口語訳</p>	<p>第一課 二月二日 「だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない。あなたがたは知っているからである。」 Ⅰコリント 一五ノ五八 口語訳</p>	<p>第二課 二月一九日 「また彼らに言われた、『安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるのではない。それだから、人の子は、安息日にもまた主なのである』。」 マルコ 二ノ二七、二八 口語訳</p>	<p>第三課 二月二六日 「目がまだ見えず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた。」 Ⅰコリント 二ノ九 口語訳</p>	

「SDA教団伝道局ホームページ(安息日学校部)」 『 <http://adventist.jp/evangelism/ss> 』

⇒ 聖書研究ガイド ⇒暗唱聖句表から 口語訳/新共同訳をダウンロード